

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

〈試料・情報の利用目的及び利用方法〉

●研究の名称

川崎病急性期におけるアスピリン未使用大量免疫グロブリン療法の研究

●研究の対象

2004年1月1日から2024年12月31日に京都第二赤十字病院小児科において、川崎病で入院された患者さんを対象とします。

●研究の目的

川崎病の初期治療として、ガイドラインでは大量免疫グロブリン療法とアスピリン中等量内服の併用が推奨されています。当院ではアスピリン内服は併用せず30年以上治療を継続しておりますが、川崎病全国調査と比較しても冠動脈障害は少なく、2024年1月に当院を含めた多施設共同研究でもアスピリン併用と同様の結果であったことを報告しました。

しかしながら、現状ではアスピリン内服を併用しない治療は日常診療では一般化しておらず、アスピリン内服を併用しない治療に関する治療成績を、個々の施設で積み上げていく必要があると考えられます。そこで、あらためて当院でのアスピリン内服を併用しない治療について検討することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2027年3月31日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の〈利用する試料・情報の項目〉について調査します。

〈利用する試料・情報の項目〉

●試料：なし

●情報：診療時に得られるカルテデータ（性別、年齢、診断名、既往歴、内服歴、身長、体重など）、川崎病に伴う症状、血液検査・心臓超音波検査・心電図・レントゲン検査の結果、治療内容、解熱するまでの日数、後遺症の有無 など

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。

《利用を開始する予定日》

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 小児科 小林 奈歩

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

京都第二赤十字病院

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：小児科 小林 奈歩

住所：〒602-8026 京都府京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の5

TEL：075-231-5171（代表）